

各 位

上場会社名	株式会社 カーメイト
代表者	代表取締役会長兼社長 村田 隆昭
(コード番号)	7297)
問合せ先責任者	取締役兼専務執行役員 塩沼 忠志
(TEL)	03-5926-1211)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,223	12	△41	△61	△8.16
今回修正予想(B)	8,333	△174	△164	△128	△16.97
増減額(B-A)	△889	△186	△123	△66	
増減率(%)	△9.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	8,561	98	100	62	8.16

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,500	1,094	970	547	72.06
今回修正予想(B)	19,696	591	509	289	38.08
増減額(B-A)	△1,804	△503	△461	△258	
増減率(%)	△8.4	△46.0	△47.5	△47.2	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	20,099	1,323	1,371	817	107.58

平成27年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,730	30	82	49	6.47
今回修正予想(B)	6,861	△175	△65	△65	△8.66
増減額(B-A)	△868	△205	△147	△115	
増減率(%)	△11.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	7,403	6	135	102	13.48

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,000	956	1,000	588	77.37
今回修正予想(B)	16,425	608	678	411	54.20
増減額(B-A)	△1,574	△348	△321	△176	
増減率(%)	△8.7	△36.4	△32.2	△30.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	17,236	913	1,133	580	76.41

## 修正の理由

### 1. 連結業績予想について

#### (1) 第2四半期累計期間

売上高につきましては概ね個別業績予想の修正によるものであり前回予想を9.6%下回る見込みであります。

損益につきましても個別業績予想の修正によるものであります。

#### (2) 通期

売上高につきましては主に個別業績予想の修正に加え、連結子会社(株)オールライフメイト(介護関連事業)の未達により前回予想を8.4%下回る予想であります。

損益につきましても個別業績予想の修正に加え(株)オールライフメイトの未達により営業利益、経常利益、当期純利益それぞれ前回予想を下回る予想であります。

### 2. 個別業績予想について

#### (1) 第2四半期累計期間

売上高につきましては消費増税前の駆け込み需要の反動減と個人消費の低迷により需要が減少し、特にチャイルドシートは大幅な未達となりました。その結果全体の売上高は前回予想を11.2%下回る見込みであります。

損益面につきましては売上高の未達により売上総利益が未達となり営業損益、経常損益、四半期純損益それぞれ前回予想を下回る見込みであります。

#### (2) 通期

今後の経営環境は引き続き厳しい状況で推移するものと予想されます。下期の売上に関しましても需要の低迷が懸念され、その結果通期の売上高は前回予想を8.7%下回る予想であります。

損益面につきましては売上高未達による売上総利益未達により営業利益、経常利益、当期純利益それぞれ前回予想を下回る予想であります。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上